

いしかり 「防火」 通信

火災原因の上位には常に放火が…

石狩市の過去5年間（平成28年～令和2年）の火災原因別件数では、たばこと並んで一番多いのが卑劣な犯罪である放火（疑い含む）であります。全国的に見ても年々減少傾向ではありませんが放火（疑い含む）は、年間約4500件発生しており、原因別一位となっております。

また、放火の特徴として一度発生したならば、その付近で続けて発生する傾向があり、住民などを恐怖に陥れるとともに、大変なストレスを抱えることとなります。

- 石狩市の過去5年間の原因別件数（平成28年～令和2年）

放火 (疑い含む)	たばこ	電気機器	溶接機 切断機	火入れ	火遊び
14件	14件	8件	8件	6件	5件

※ 上位6位までを抜粋

放火犯が意図的に火をつけて発生することから、未然に防ぐことが難しいと思われがちですが、放火されやすい傾向を知ることで、対策を講じていくことができると考えられます。

1 放火されやすい傾向とは

(1) どんな場所が狙われますか？

外から入りやすく、人の気配がない場所が狙われます。

- ・ 建物の周囲（特に建物と建物の間）
- ・ ごみ置き場
- ・ カギのかかっていない物置や倉庫
- ・ 駐車場、駐輪場
- ・ 雑居ビル、アパートなどの共用の階段や廊下など



(2) 狙われる時間帯は？

暗くなる時間帯（夕方から明け方）の発生が多くなっています。

深夜から未明の時間帯の放火は、発見が遅れて被害が大きくなる傾向があります。

(3) 火のつけられやすいものは？

見えづらい場所で、放置されているものに火をつけられやすいです。

- ・平積みされた新聞紙、雑誌
- ・ごみ（燃えるごみ・粗大ごみなど）
- ・バイクなどにかけているカバー
- ・枯草・木材



2 放火されない対策

- (1) 車庫や物置、倉庫などは無人になるときには必ずカギをかける。
- (2) ごみは収集日の朝に出す。
- (3) 工場や店舗、家の周囲、駐車場に外灯を設けて明るくする。
- (4) 工場や家の周囲を整理整頓し、燃えやすいものを不用意に置かない。
- (5) 自転車やバイクにカバーをかける場合は、防災製品を使用する。
- (6) 郵便受けに新聞や郵便物を溜めないようにする。



人感センサー付きの外灯は防犯対策の効果が期待されます！

これらの対策を自宅や自社の事業所で行うのも大切ですが、となり近所の住民や事業所と協力し、地域ぐるみで周囲の掃除やパトロールをするなどして、放火犯に隙を見せない環境づくりをすることが一番効果的です。

ぜひ、実践していただいて卑劣な犯罪である放火を無くしていきましょう！！

石狩北部地区消防事務組合のホームページから、ご自宅やお勤めの事業所、お住まいの地域の「放火火災の危険度」診断することができます。

放火火災の危険度診断URL ↓

放火火災の危険度診断 2次元バーコード →

<http://www.ishikarihokubu.jp/anshin.anzen.jouhou/kasaiyobou/houka.kikendo.check/houkakasai.kikendo.check.html>



発行：石狩消防署予防課

〒061-3211 石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ ツイッター